

# Weekly Report



ロータリー:  
変化をもたらす

国際ロータリークラブ会長テーマ  
RI 会長: イアン H.S. ライズリー

ロータリー: 変化をもたらす

2017.11.30 No.2866

真岡ロータリークラブ会長テーマ  
会長: 金子 正男

ロータリー 愛



国際ロータリー第 2550 地区  
真岡ロータリークラブ

- ◆ 司 会 SAA 久保賢司 君
- ◆ 点 鐘 会 長 金子正男 君
- ◆ 国 歌 君 が 代
- ◆ ロータリーソング 奉 仕 の 理 想

◆ 会長挨拶 会 長 金子 正男 君

皆さんこんにちは。先週は祭日で休会となり、2週間ぶりに例会に来ますと、久しく会っていなかった様な気がして今日は嬉しく思います。しかしながら悲しいお知らせから入らなくてはなりません。皆様に連絡は送られていると思いますが、昨日 26 日早朝、岡本パスト会長の母、静子様が無眠されました。大正、昭和、平成と激動の時代を生きられ 92 歳の国寿を全うされたと思います。心よりご冥福をお祈りいたします。



私事です先日、久保エレクトはじめ野澤、中川、田崎会員数名参加で、天照大御神のすぐ前まで行って参りました。入り口には電動車椅子が体の不自由な方に用意されていました。同行した方がその車椅子を利用したのですが、横には「伊勢ロータリークラブ寄贈」の名が書いてあり、全国でロータリーが頑張っている事に、感動しました。また、参拝の折には柳田宮司はじめ皆様のおかげで、一般の方よりも一歩前で神様にあうことができ、感動いたしました。詰まり、一般の方は、我々の数メートル後ろの所で参拝しており、何とも言えない体験で心が洗われる様な気がしました。便乗してロータリー愛を神に報告して参りました。皆さん知っている方もいるかと思いますが、入り口には三重の扉があり、手前まで行けるのは、総理大臣や国際的に地位のある方ですが、扉の手前までです。扉を開けられるのは、秋篠宮ご夫妻。また、次の

扉が皇太子ご夫妻、全部開けて中に入れるのは、天皇皇后両陛下だけと聞いております。野澤会員が、1 億円出しても 10 億円出してもそこまでは行けないのかとガッカリしておりました。また、人間と生まれて皆平等と思っておりましたが、そうではないとつくづく思いました。

また、私事です、26 日土曜日は岡本パスト会長、小林、柳沢会員、レナちゃんと一緒に横須賀ストーリーと猿島に行って、ハイキングをして参りました。猿島に船で渡り、島散歩も良い運動となりました。

さて、ロータリー財団月間最後ですが、前ロータリー年度では、3 億 4 千万ドルの寄付があり、内訳は年次基金に 1 億 4 千万ドル、恒久基金に 2 千 8 百万ドル、ポリオプラス基金に 1 億 8 百万ドルが充てられており、今日のロータリー活動を支えています。また「世界でよいこと」をする為にかかれています。皆さん一人一人の力だという事をお知らせして会長挨拶とさせていただきます。

◆ 委員会報告 青少年委員会 坂本 光 君  
正月のサッカー大会の景品ですが、上限はございませんので、たくさんのご協力をお願いいたします。随時、受け付けていますので坂本、平石、太田までお願いいたします。

◆ 内部卓話 == 職業 PR ==

♥ 有限会社オカベ薬局 岡部 貞一郎 君  
職業紹介の卓話という事で、手元に一応概略をご用意しました。私どもの店をご存じない方はいらっしゃいますでしょうか。足利銀行の北の信号のこちらから行くと左



## MU 会場案内

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
宇都宮 90 東武ホテルグランデ 小山中央 思水荘	真岡西 フォーシーズン静風 宇都宮 東武ホテルグランデ 宇都宮東 ホテルニューイタヤ	益子 益子カントリー しもつけ 石橋商工会館	宇都宮西 東武ホテルグランデ 宇都宮北 宇都宮グランドホテル	小山東 小山グランドホテル

会 長 金子 正男 幹 事 石塚 龍夫 会報委員 小林 勇一郎 大瀧 和弘 磯崎 和実 田崎 義典 田辺 義貴  
事務局 〒321-4305 栃木県真岡市荒町 1203(真岡商工会館内) URL: <http://rc-moka.jp/>  
TEL.0285-84-2511 FAX.0285-84-2510 e-mail: [rc-moka@sweet.ocn.ne.jp](mailto:rc-moka@sweet.ocn.ne.jp)

側にある薬局で、岡部薬局と申します。よろしくお願ひいたします。

先祖様がそこに来たのは、明治2年頃ですから150年～160年前です。戦前は肥料屋でした。農協が今盛大にやっていますが、戦時中に商売をやめました。それから何をやるか。たまたま叔父さんが足利で薬局をやっておりまして、昭和29年1月19日薬局を始めました。前の年に結婚をしておりましたので、夫婦二人で始めました。病気にならない薬局という事で始めました。健康相談、血圧とか皆さんがこれから病気にならないようにという事で営業しております。

コピーは年齢別の真岡 RC の表で、89歳は私ですが84歳杉村さん、それとずっと下にきまして68歳が4名、62歳の方が4名、57歳も4名、50歳の方も4名で、なぜ書いたかといいますと、平均余命というのがありまして、あと何年ぐらい生きられるか、油断しているとあっという間に死んでしまいます。二枚目の表が平均余命になっています。自分の年齢の所を探して見ていただくと分かりますが、後どのぐらい生きられるか、統計的な数値です。三枚目は死因ランキングで、だいたいどんな病気で死ぬのかなど、参考にしてください。トップは肺炎ですね。一番多い病気はガンですね。その次が脳梗塞とか心筋梗塞で、血流血管の病気です。その他、そこに書いてありますので、だいたいどんな病気で死ぬのかなどいう事を考えて予防措置をして頂ければ幸いです。以上でささやかな卓話でございましたがよろしくお願ひいたします。

#### ♥ 株式会社杉村薬局

杉村 久夫君

皆さんこんにちは。私は真岡市久下田、旧二宮町で薬局を開業しております。杉村薬局でございます。久下田は割と古い町のです。久下田の住民は、地元の人もおりますが、秋田方面、日本海、それからうちがそうですが、関西方面の人が多くいます。うちは愛知県から来たようです。今から200年前。薬屋になったのは、父の源一郎、その上が藤一郎で、その藤一郎おじいさんが薬屋を始めたという事です。当時は今のような製剤があるわけじゃありませんので、山に生えている当薬を集めて売ってました。今の寺内の西側は真岡工業団地ですが、あの辺は一面雑木林でした。その代りその当薬がすごくあったのです。みんなあの辺の人は当薬を抜いてはうちに持ってきて、うちで関西の方へ送ったわけです。大きな枠を組んで送るのですが、相当な量です。当時トラックはありませんでしたので、荷車で駅まで持って行って送ったようです。

それで藤一郎さんから源一郎になりまして、私が生まれて跡を継いだという事です。現在は一昨年から倅に店を任せて、一応私はフリーな状態でございます。皆さんは経験ないかと思うのですが、私は卸をやっていました。私がロータリーに入った時にはお医者さんが3人ぐらいいました。歯医者さんを入れると4人ぐらい会員にありました。一般薬局と、お医者さん専門の薬の販売



をやっておりました。私は作業員の若い衆を二人から三人使って、毎日外交に歩いていました。今の人は外交なんて経験ないと思います。当時はオートバイが出た当時ですね。バイクとかオートバイに乗って、茨城土浦方面、宇都宮方面、足利方面、烏山方面その範囲以内で、だいたい一人30件ぐらいのお医者さんを担当して一日おきに回っていた訳です。そういう事も経験しております。今の若い人にはできない、やらないと思います。今の若い人は、なかなか商店に買い物に来るという事ができないのか、やらないのか、という事でどの町に行っても商店街がひっそりとしていますよね。みなさんもお存じだと思います。義理人情も無くなっています。久下田と真岡はその代表的なものではないかと思っているわけです。

最近では会員も多いので、誰がどのような商売をしているかはなかなか覚えられないのです。このような発案をしていただいたので今度は分かると思います。近辺で終わりにします。よろしくどうぞ。

#### ♥ 久下田木材有限会社

木村 慎太郎 君

皆さんこんにちは。3番目と、こんなに早く回ってくるとは思いませんでした。私は昭和59年に父が亡くなったので、公務員を辞めて戻ってきました。そして跡を継ぎました。商売は、建築材料を建築屋さんへ売ることです。木材、新建材、ベニヤとかサッシですね。あとは請負もやりましたが積極的に売り込みしませんので主に、流通の方となります。



もともと木材を扱っていた訳で、父の頃は製材をやっていました。原木を買い込んでそれを貨車で久下田駅まで持ってきたり、あと県内だったらトラックで取りに行ったりして木材置き場に置いておき、一日中製材をやっていた訳です。もちろん販売もしていました。作って売るといふ形ですね。遠いところは岩手県の方まで行って、木材を買って送ってもらっていたのを覚えています。

私はしばらく家を出てしまっていたので、商売というのはそんなにやっていた訳ではないのですが、戻ってきて即やったという事です。下に二人いて木材とサッシをやっていたので、そんなにやらなくても割とできました。やがて独立したり辞めたりしました。積極的によく頑張れる人もいると思うのですが、私になってからはある程度はやっていましたけども、だんだん下降気味であります。私が来た頃は製材所さんも山の方でやっていたりしましたが、ずいぶん辞めたと聞きました。特に今はハウスメーカーとのバランスが主な原因かもしれません。うちなどは工務店相手に商売する訳ですが、今は大工さんが仕事をあまり取れない訳です。それでも辞めないうで商売をしっかりとやっている人もいます。年に一度、宇都宮の市場の買い方組合の総会を鬼怒川温泉でやっていて必ず出ていた。今はチャットパレスでやっています。

私が初めて33年ぐらいが経ちますが、木材の値段は二十何年掛かって段々下がったというか、上がっている

感じがしなかったですね。下妻の市場の人に聞きましたら、外材が4割、内地材が6割の扱いだと言っていました。外材というのは常に価格を抑える要因になったかも分かりません。

今の家は言い方が悪いかもしれませんがペタペタと作られているのが多い様で和室も作らなくなりました。和室は実際高いです。無垢を使いたしたらえらい高くなります。そういうのは減り、床の間などは作らなくなってきた、銘木屋さんは段々しぼんできますね。床柱なんて使いませんよね。そんな状況です。子ども二人いますが、家内がとてもあんな重いもの持たせられないから、それ以前にとても継がせられる状況になっていないです。こういう状況です。ありがとうございました。

#### ♥ 福原呉服店

福原 一郎 君

私は真岡市の田町で福原呉服店という個人経営の呉服屋さんをやっております。着物の需要は少なく、特に女性の着物で一番華やかな振袖を今営業活動で販売をしているのですが、到底販売では立ち行くような状況ではございません。レンタル志向が一般のお客様に浸透しておりますので、大々的にレンタルをやっております。7歳のお祝い、5歳のお祝い、3歳のお祝いもレンタル志向になっております。昭和26年の頃には着物人口が多かったものですが、パイも大きくてみんなで分け合って暮らしていましたが、機を生産する人、糸を作る農家の方々、生糸とか綿糸とかを生産する方が減ったうえに、更にメーカーの方で機織りをやるような方が減りまして、先行きが寂しい思いでもあります。

昭和58年に真岡木綿を復活させようという個人的な見解でプレハブの小屋を作り、全国の木綿を集めてそれを見ていただき、いろいろな木綿の生地を利用したものを展開することで、真岡木綿を復活させようという機運を盛り上げようと、展示場を作りました。うまい具合に真岡市の行政の方で力を入れて下さり、真岡商工会議所でも取り上げて下さいました。亡くなられました元会員の小倉執さんが、真岡木綿復活のための振興会の会長になって下さいまして、今の真岡木綿が復活できたかなと思っております。そのような事で、無くなりほしくない着物だとは思いますが、四苦八苦しなながら皆さんと一緒に盛り上げるというか、守っていければいいなと思う次第です。今後とも宜しくお願い致します。

#### ♥ 株式会社辻善兵衛商店

辻 達 男 君

皆さんこんにちは。私の職業は酒造業です。歴史が長く、宝暦4年創業の私で15代目ですから3分間で話すのは至難の業です。お酒は昔からありまして、真岡市ではお寺などで造られたみたいです。お寺や神社に奉納する絞ったお酒は御神酒と申しまして、大前さんとかのお寺や神社に奉納します。お米も奉納しますね。そのお米で作ったお酒です。神に捧



げるものを造る訳ですから、まさにロータリーで言うところの職業奉仕をやっているのではないのでしょうか。

我々の業界は大変厳しいものがあり、和食とか着物とか日本古来のものがだんだん少なくなってきているというお話もありましたけれども、実際我々の業界もそうでありまして、私がこの業界に入りました45年ぐらい前はお酒といえばほとんど日本酒だったんですね、それが段々と焼酎、ワイン、ウイスキーとかいろいろな種類が出てきて日本酒の占める割合は往年の三分の一以下ぐらいに減ってきてしまったのです。45年前は全国で3,300社の業者がありました。今は1,100社か1,200社です。芳賀郡内でも10社近くの造り酒屋がありました。いま僅か3軒です。

戦後まもなくは、酒は造れば売れた時代もありましたが、飽食の時代になりまして消費が減って日本の人口も減ったという事で今は、量から質の時代になりました。高級な吟醸とか、純米酒とか特定名称酒といいますが、そのお酒のウエイトがほとんどになりました。販売エリアもほとんど真岡で売られていましたが、そういうマニアックなお酒となりますと東京とか宇都宮の大消費地の方に目が向いておりまして、実際こちらの方が量的には増えてきております。それどころか、自分でも驚いているのですが、国内は少子高齢化でお客様が減ってきております。最近では外国の方にお酒が輸出されております。量的には少ないですけれども、全国的には増えてきております。昔は輸出しているといと相当大きな酒造メーカーだったのですが我々のような小きなところでもアメリカやオーストラリアなどに若干は出しているのです。そういう時代の大きな変化に差し掛かっております。これからどういう状況になるかは非常に難しいのですが、とにかく質のいい美味しいお酒を出さないと受け入れられないという事で頑張っております。

どこのメーカーでも自分のところのお酒はうまいと言うもので差がつかないので、第三者のお墨付きというものがどうしても必要になります。それには鑑評会がありまして、メジャータイトル国内に三つありまして、全国清酒鑑評会、関東信越国税局酒類鑑評会、栃木県清酒鑑評会があります。最近では全勝で我が社も入賞しております。栃木県内特に芳賀郡内はレベルが非常に高く、皆さん入賞するものですからそれだけじゃ目立たなくて、一番にならないと目立たなくなりました。今年は運よく栃木県清酒鑑評会で知事賞を頂きまして、一番になりました。ありがとうございました。これからは皆様のご支援の下に良い酒を造っていきたいと思っております。宜しくお願い致します。ありがとうございました。

#### ♥ 有限会社広瀬生花店

広瀬 紀夫 君

こんにちは。私は2代目です。花屋です。寺内の駅の前、国道294号線で花屋をしております。花屋で飯が食えるのかと言われていました。私の小中学校の頃の親の職業は農業ですが、実際は花屋をしていました。花屋では食って行けるとは



言われませんでしたから梨を作っていました。200本ぐらいありましたが、私が高校生の頃全部切りました。その頃、花屋は認められていない職業でした。高校が終わった頃から花がみんなの目につくようになり、使うようになり増えてきました。元々親父は花の先生をしていました。男でお花の先生というのと驚かれるでしょうけど結構その当時はいたらしいです。今でも家元クラスの方は皆男です。花の先生をして、自分で花を東京に買いに行き、そして教えていました。周りの先生方が自分で花を買いに行けないのでその分まで一緒に買って来て、それを続けているうちに、教えるよりもその花を売った方が楽だったのではないかと思います。

花屋二代目とは言っても今の場所に店を出したのは私になってからです。約30年ぐらい前です。その前は畑の中で商売をしていました。お花の先生の所に花を収める職業でした。いま取り扱っている商品は、切り花、鉢の花、プリザーブドフラワー、お祝いのお花やお葬式の花、500円の仏様のお花も作ります。花の事はなんでもやります。国家資格の1級技能士を持っています。栃木県で3号です。できたばかりが一番簡単だったのかもしれませんが。誰でも取れた訳ではありません、ちゃんと勉強して取りました。その時からフラワーデザインを習い、1級を取り講師免状まで取りました。花屋をやっているところまでやる気になったのはきっと、花屋が向いていたからだと思います。花を生けることは嫌いではないです。だから続けられているのかなと思います。花が必要な時は寺内まで来てください。以上で終わります。



◆スマイルボックス報告

大堀 文雄君  
金子 正男君 二週間振りの例会ですが、寒くなって参りました。後1ヶ月で正月ですね。カゼには十分気をつけて下さい。  
石塚 龍夫君 職業PR3分間スピーチ、本日から年功順にスタートします。宜しくお願いします。

久保 康夫君 芳賀経友会40周年、栃の実会ゴルフ次男と新吾、真利会旅行お伊勢参り同行の皆様、法人会ゴルフ杉田さん、法人会旅行次男と新吾、お世話になりました。11/27娘が入籍しました。久保姓が一人減ったらしいです。

岡本 俊夫君 会長幹事はじめ、母の葬儀に際しご高配を頂き誠にありがとうございます。後日改めてお礼を申し上げたいと思います。

大堀 文雄君 辻さん、桜川の知事賞おめでとうございます。

久保 賢司君 最近我が家は、娘の大学受験が近くなり、変に張りついた空気が漂っております。早く春になってほしいものです。今年も残すところ1ヶ月です。最後まで、がんばりまし方々、お疲れ様です。拝聴してまいります。

馬場 照夫君 横松 和美君 岡本様へ、謹んでお悔やみいたします。

◆スマイルボックス(11月30日現在)

前回までのスマイル繰越金	1,113,500
会員	29,000
ビジター	0
本日のスマイル合計	29,000
スマイル今期累計	1,142,500
前回までの米山繰越金	30,354
本日の米山	0
米山今期累計	30,354
合計金額	1,172,354

◆プログラム委員会  
柳澤 正弘君

◆出席委員会  
太田 浩彰君

月間予定

12月																													
3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
				月初例会、クラブ総会							内部卓話							忘年家族例会							休日休会				

本日の  
プログラム  
12/7  
月初例会

出席者 ◆出席報告 出席委員会 太田 浩彰君

在籍 57名	出席免除者 2名 (有資格者 2名 + 有理由者 0名)							
例会日	出席義務	事前 MU	事後 MU	出席者	内免除者	欠席者	出席率(%)	
補正後 11月9日	55	11	3	30	0	11	80.00	
本日 11月30日	55	4	-	43	0	8	85.45	

月間出席率(%)											
7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
95.72	94.44	90.94	88.25								

次回の  
プログラム  
12/14  
内部卓話

※例会欠席は AM11:00 までに必ず事務局(TEL.0285-84-2511 FAX.0285-84-2510)までお知らせください。